THE JOMO SHINBUN　2000年（平成12年）11月1日（水曜日）（日刊）

上毛新聞
発行所（〒371－8666）前橋市古市町1－50－21
上毛新聞社
電話 市外局番（027）
（編集）251－8933（広告）251－9944
（販売）251－3131（事業）251－9955
（印刷）251－4995（出版）251－8966
（ファ）251－8930（受売）251－9284
（総務）251－9977（総合）251－9911
© 上毛新聞社 2000年

教育、福祉など身近な課題

住民自ら施策決定

県、年内にモデル地区

小さな自治で協議会提案

小学校区単位に自治区を編成する「小さな自治のシステム」を研究している県の政策研究会は三十一日までに行った中間報告で、自治の実施機関として民生委員、代表者会議などで構成する「自治協議会システム」のモデル案を示した。自治協議会は教育、福祉、環境、防災などの身近な課題について、市町村の補助を受けながら住民自ら政策を決定、きめ細かなサービスを実践する。並行して県は年内に、小さな自治のモデル地区を設ける方針で、前橋、高崎市内の二、三カ所を対象に選考を進めている。

「自治協議会システム」の仮モデル

「小さな自治」の中間報告は、部局横断で組織する県の政策研究会（事務局・企画課）が昨年十月以降の研究成果を集約し、地方自治の枠組みや法制度面の検討を踏まえ、小学校区単位の自治を実践する活動機関の条件を満たせば地方自治法に基づく法人格取得が可能としている。地方自治の枠組みが市町村合併問題を民総会（まちづくり委員会）などの枠組みで市町村合併問題を民総会（まちづくり委員会）などの枠組みで市町村に次ぐ第三の自治体は、住民参加を強く志向した新しい自治のモデルとして注目されそうだ。

政策研究会はさらに、年内にモデル地区を設けて実験的な運用に乗り出す。一方、部局横断で「構成団体」の四機関が中心となる。東京都三鷹市や兵庫県芦屋市の住民参加行政を参考に、仮設モデルの一つとしてまとめた。

中間報告では自治協議会の事業費用について、県の財政支援と連動した市町村の補助を想定。自治協議会は住民の民間団体として発足する一方、活動期間などの自治を実践する活動機関として「自治協議会システム」を提案した。

自治協議会は、住民投票を行う意思決定機関の「住民総会」（仮称）を開き、自治会長ら地域団体の役員などで構成する意思集約機関の「代表者会議」、事業を執行する「運営委員会」、ボランティア活動を推進する「構成団体」の四機関で構成する。第一段階として、「代表者会議」、事業を執行する「運営委員会」、ボランティア活動を推進する「構成団体」の四機関で実験的な運用に乗り出す。

県は、住民参加を強く志向した新しい自治のモデルとして注目されそうだ。

政策研究会はさらに、年内にモデル地区を設けて実験的な運用に乗り出す。一方、部局横断で「構成団体」の四機関が中心となる。東京都三鷹市や兵庫県芦屋市の住民参加行政を参考に、仮設モデルの一つとしてまとめた。

中間報告では自治協議会の事業費用について、県の財政支援と連動した市町村の補助を想定。自治協議会は住民の民間団体として発足する一方、活動期間などの自治を実践する活動機関として「自治協議会システム」を提案した。

自治協議会は、住民投票を行う意思決定機関の「住民総会」（仮称）を開き、自治会長ら地域団体の役員などで構成する意思集約機関の「代表者会議」、事業を執行する「運営委員会」、ボランティア活動を推進する「構成団体」の四機関で構成する。第一段階として、「代表者会議」、事業を執行する「運営委員会」、ボランティア活動を推進する「構成団体」の四機関で実験的な運用に乗り出す。

県は、住民参加を強く志向した新しい自治のモデルとして注目されそうだ。

小さな自治は地方自治に対する小学校区知事の考えを反映する形で研究に着手。「行政があまりにも大きくなり自治が住民から遠かわりが強く、広く市町村の理解を呼びかけている。

小さな自治は地方自治に対する小学校区知事の考えを反映する形で研究に着手。「行政があまりにも大きくなり自治が住民から遠ざかりが顕在化するのではないか」（昨年の県議会九月定例会事答弁）との視点から、市町村と政策分担を図りながら住民本位のきめ細かな自治の育成を目指している。

県は、地域に密着した施策を立案、実施する方向だ。また、金額的に膨開する場合、県にも増して市町村とのかわりが強く、広く市町村の理解を呼びかけている。

県内製糸業をけん引

グンサンが解散

122年の歴史に幕

「社会的使命終えた」

製糸業のトップメーカーとして、群馬をけん引した藤岡市藤岡の「グンサン（片岡一夫社長）」が戦後の九四六年、「群馬製糸製造株式会社（本社・高崎市）」としてスタートした。

同社は明治期に国内組合製糸の流れを汲む「群馬製糸株式会社（本社・高崎市）」が前身。

グンサンは戦時統制によって発展的解消をとげ確水社の地盤を引き継ぎ形で閉じる。

グンサンは戦時統制によって発展的解消をとげ確水社の地盤を引き継ぎ形で閉じる。

グンサンは、群馬県内の三井物産系列となり、六七年に本社を現在地に移し、社名も現在のグンサンに改称した。

最盛期の〇年代初半には、県内に五工場を持ち、従業員千人、年間二万俵（一トン）を残念だが、時代の流れ。残念だが、時代の流れ。

県内で唯一、残る組合製糸、確水製糸業協同組合（松井田町）の茂木雅雄組合長は「確水社以外、日本は生糸生産部門の操業停止を余儀なくされた。

会長は「確水社以外、日本は生糸生産部門の操業停止を余儀なくされた。

公的解消について同社関係者は「長い間、養蚕を中心にした地域の生活文化を支えてきた。事業目的、社会的使命を終えたということ。残念だが、時代の流れ。

県内で唯一、残る組合製糸、確水製糸業協同組合（松井田町）の茂木雅雄組合長は「確水社以外、日本は生糸生産部門の操業停止を余儀なくされた。

公的解消について同社関係者は「長い間、養蚕を中心にした地域の生活文化を支えてきた。事業目的、社会的使命を終えたというこ

同社の撤退で、県内に残る製糸工場は確水製糸と吉野組製糸所（渋川市）の二つとなった。

縮小傾向続く 本県の養蚕業

日本一の養蚕県を誇った本県でも、養蚕業は年々縮小傾向が続いている。昨年度の実績で、収繭量六百二十三万、生糸生産量三千百七十七俵は、ともに全国トップを守り続け、全国シェアも収繭量で四二%、生糸で三〇%を占めている。しかし、養蚕農家は年々減少しそれに伴って収繭量は戦後最多だった六八年度の約四十四分の一、生糸生産量もピーク時の十四分の一に落ち込んでいる。

税滞納整理へ 進本部を設置

渋川市

渋川市は十一月を市税滞納整理月間と定め、後期高齢者医療保険料滞納整理本部を設置、一日から訪問による滞納整理を始める。三回目となる今回の取り組みは、県内の職員も動員し、税以上の職員も動員し、市職員全体の二十五%に当たる百十人態勢で臨む。

対象者は固定資産税、市県民税、法人市民税、特別土地保有税、軽自動車税、特別土地保有税、国民健康保険税、同市の前年度の未収額は二億六百四十五万円、未収率は二七%だった。景気回復の遅れにもあり、未収率は年々増加傾向にある。前年度は特別滞納整理で、四百五十七万五百円の徴収に成功した。

鮮やか秋色 赤城自然園 コントラスト

紅葉前線が南下する赤城山西麓に開園中。赤城山西麓に開園した赤城自然園（赤城町南赤城山）でも、ブナ、カエデ、コナラなどが赤や黄に色づき始めた。日から五日まで晩秋の一日から五日まで晩秋の紅葉は遅れ気味だったが、先週末からの冷え込みで、鮮やかなコントラストが楽しめるようになったという。特別公開中の土・日曜日、祝は職員が園内を案内するネーチャーガイド（午前十時半）、落ち葉や松ぼっくりで工作を楽しむネーチャークラフトなどが予定されている。

開園時間は午前九時～午後四時半（最終入園午後三時）、入園料は高校生以上千円、小・中学生五百円。

公共交通利用者 意見を吸い上げ

きょう前橋 関東運輸局

関東運輸局（神奈川県横浜市）は一日、前橋・群馬県生年金会館で公共交通の利用者と交通事業者、行政の担当者らが意見交換する「交通アドバイザー会議」を開く。

同会議は公共交通利用者の意見や要望を吸い上げるため、同運輸局管内ではじめて、東京都、神奈川、千葉県などで開催、本県での実施は初めてで、一利用しやすい公共交通についてが会議のテーマとなる。出席者は利用者代表の会社員、自営業者、学生や交通アドバイザー八人と、バス、JR、私鉄などの県内事業者、県の交通政策担当者らを合わせて二十四人。

3日から太田で全国青少年シンポ

300人が21世紀考える

「21世紀を考える全国青少年シンポジウム太田大会」（日本都市青年会議主催）が三日から三日間、太田市の社会教育総合センターをメイン会場に開かれる。三十一回目の今大会は全国から三百人の青年が集まり、環境・福祉問題、国際交流、間と運営しながら、共通のテーマとしてとらえ、大会イベントショップのほか、十第一回大会は七〇年三月、日本万国博覧会を記念して大阪で開かれた。

太田市での開催は、同市の青年活動が評価されている。

さまざまな問題を全国の仲街づくりについて研究討議、講演やパネルディスカッションなどを通じて、大会のスローガンを掲げ、「共通のテーマ」を探る。

過去最低の平均伸び率

県産業別最低賃金

群馬労働局（田辺征局長）は三十一日、群馬地方最低賃金審議会（会長・木暮圭高崎経済大教授）の二〇〇年度県産業別最低賃金の改定に関する答申内容を発表した。厳しい経済情勢を受けて、対象四業種の平均アップ率は過去最低の〇・八四%（昨年度平均〇・九一%）、引き上げ額も全業種で十九円にとどまり、二九八八年度に本格的に実施された最低賃金制度以来、最低の伸び率となった。答申に基づき、田辺局長は改正決定の手続きを行い、十二月一、二十三日に発効する予定。

答申された最低賃金額（日額）は「製鋼・製鋼圧延」が五八八百六十円（前年比八百二十円）、「電気機械器具製造業」が五八八百六十円（同〇・八四%）、「輸送用機械器具製造業」が五九百五十三円（アップ率〇・八二%）、「金属加工機械、一般産業用機械・装置、事務用・サービス用機械・同部分品製造業」が五九百五十七円（同〇・八四%）。

県内の適用者は八月末現在で三千八百十五人、実施日の前年度分品製造業」が五八百七十七円（同〇・八四%）。

県内の適用者は八月末現在で三千八百十五人、実施日の前年度分品製造業」が五八百七十七円（同〇・八四%）。

在で三千八百八十五人、実施日の前年度分品製造業」が五八百七十七円（同〇・八四%）。

在で三千八百八十五人、実施日の前年度分品製造業」が五八百七十七円（同〇・八四%）。

八月に答申され、十月一日から実施されている四業種は日額で、「鋼圧」が五千百十一円、アップ率〇・七九%で、やはり過去最低の伸び率だった。

郷土出版ご案内

■『馬の伝承わらべうた』 西井正保著 B5判上製 一五六頁 価一八〇〇円
■『上野国神社明細帳』 東国馬郡・勢多郡の二 A5判上製 一五六頁 価三〇〇〇円
■『東津中次郎日記』 上・下 共本分冊編 A5判上製 二三六頁 価三六〇〇円
■『解説『高田日記』』 高田入場記 B5判上製 二三六頁 価三六〇〇円
■『高田入場記』 中世 利根郡・勢多郡・群馬郡・佐波郡・碓氷郡・甘楽郡・多野郡・吾妻郡・